



年頭のあいさつ



行方市長
坂本 俊彦

新年明けましておめでとうございます。皆様には、清々しい希望に満ちた新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年を省みますと、長期化する景気低迷、多発する自然災害、第三次小泉内閣発足と、全国的に激動の一年であったと感じます。本市においても、昨年9月2日に、それぞれ永い歴史をもつ三町が合併し、新生行方市の出発をみた大変革の年でありました。

新市の初代市長として、住民や地域が活き活きと輝ける行方市建設を念頭に、改めて責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

自治体における情勢は、厳しい財政運営に加え、少子高齢化、環境保全、教育問題、市町村合併等、社会の急速な変化に伴って様々な課題が発生し、依然として厳しい状況にあり、時代に即応した柔軟な体制づくりが求められているところです。

こうしたなか、私は効率的で効果的な行政組織の整備に努めるとともに、市民の皆様と共に考え、共に作り上げるまちづくりを目指してゆきたいと考えております。

それには、三町それぞれ育んできた伝統文化や風土、あるいは経済的活動を活かし、尊重し合いながら、積極的に相互理解と地域融和を図ってまいります。

終わりに、新しい年が皆様にとって幸多い年になりますよう、お祈り申し上げて、新年のあいさつとさせていただきます。



行方市議会議長
高野 貫一

輝かしい新年を迎えられ、市民の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに希望の新春を迎えるに当たり、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

さて、昨年を振り返りますと、9月2日に新生「行方市」が誕生し、新たな船出をした私たちにとって忘れることのできない歴史的な年でありました。合併に至るまでには市民の皆様をはじめ、関係各位の絶え間ないご努力がありましたこと、改めて深く感謝申し上げます。改めて、ここに新年を迎え、本市の

お陰をもちまして着実に発展への基盤を固めてまいりました

一段の飛躍を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

社会経済情勢がめまぐるしく変化するなか、本市を取り巻く環境もまだまだ厳しい状況にあり、行財政改革を基本とした、様々な見地からの歳出予算の削減、少子高齢化対策等、克服すべき課題が山積しております。

しかし、たとえ厳しい財政状況であるとも、市民の皆様にとって本場に必要の施策・住民サービスが展開されるよう、議決機関の機能を強化し、行方市の発展と市民の福祉向上、生活の安定を図るため、議員が一丸となって、力を傾注する所存であります。今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって最良の一年になりますようご祈念申しあげまして新年のあいさついたします。